

萱瀬の空の下



大村市立萱瀬小学校学校だより

令和8年5月1日

～歓迎遠足～

24日（金）歓迎遠足に行ってきました。約4Kmの距離を全員頑張って歩きました。

出発前は体育館で歓迎集会を実施しゲームやうたを歌って楽しみました。

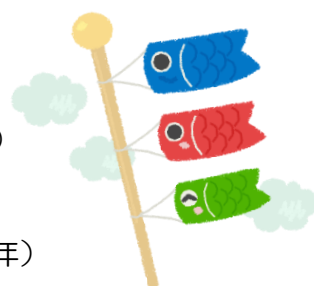
その後遠足に出発しました。6年生は1年生とペアを組んで歩きました。相手に合わせて行動すること、人を励ますこと、人を思いやることなどを学びます。

1年生にとっては、慣れない長距離を歩ききすることで、あきらめないことや達成感を味わいます。

ここで大人の出番です。大人たち（萱瀬っ子全員）はその価値を知りません。大人が褒め、認めることで価値がわかり、成長の自覚や意欲をもつことにつながります。決して特別なことや物はいいません。声をかけることや抱きしめてあげることで十分です。この繰り返し子どもに安心や自己肯定感を育むのではないのでしょうか。

5月行事予定

- 1日（金）B日課 居所確認2
- 3日（日）憲法記念日
- 4日（月）国民の休日
- 5日（火）こどもの日
- 6日（水）振替休日
- 7日（木）小中合同練習（A日課）
- 8日（金）交通安全教室（1・2年生）
- 11日（月）小中合同応援練習・総練習準備
- 12日（火）運動会総練習（予備日14日）
- 15日（金）運動会準備
- 17日（日）小中合同運動会
- 18日（月）振替休日
- 19日（火）やまびこ集会
- 20日（水）内科検診（全学年）
- 26日（火）やまびこ集会
- 29日（金）プール清掃
視力検査（3～5年）



～ご紹介いたします～

この萱瀬小学校は、今後小中学校併設の学校になります。そのことに関わって、過去共に過ごした教員子たちにアンケートをとっているところなのですが、次のような考えを伝えてくれた子がいます。この萱瀬の地で学ぶ後輩への願い、学校教育への提言です。本人に了承を得た上でご紹介します。

小中混ざること、多様な意見に触れ、多様な人と関わり、価値観や考えを膨らませることができる学校になってほしい。地域と繋がりをもつ学校になってほしい。（学校の教育だけでは学べないことがあると思う。例えばその地域の良さ、その地域の人がしている仕事の意味、地域と連携することで、社会とのつながりをもつことができ、いずれ高校・大学もしくは就職に進むと思うが社会へ出ることに対してのギャップを減らすことができるのでは？

SNSの普及で内側に籠りがちな今の子どもたちには、人とたくさん関わり、人と自分の意見を伝え合う場をたくさん提供してほしい。今は、1人一台タブレットで共有が簡単にはなったけれど、やはり1番心に残るのは、人と対面で対話すること、そして、その対話から内省なり振り返りなりをして、自分の意見や意思を決定できるような子どもたちであってほしい。言葉にせず機械に打ち込んで共有できる時代に、言葉を使って対話することにこそ価値があると、私はそう思う。

そして、VUCAの時代（先行きが不透明な時代）である現代の社会では、自分で決めてそれに基づいて行動することが、自分らしく生きることにつながると思うので、小学生や中学生のうちから、子どもたちに自分で決めさせる活動を増やしてほしい。なぜなら、自分で決めたことには責任が伴うから。言い訳ができないから。技術や学力を超えた生きる力を、いろんな体験から得てほしい。そういう教育を、サイクルを萱瀬で作ってほしいと考える。

保護者や地域の皆様のお考えもお尋ねしたいと思います。
右のQRコードから入っていただき、お答えいただくと幸いです。